

2009 年度の活動

回数 (通算)	月日	報告者	報告題目
1 (110)	4/15	麗 紅 (小樽商科大学大学院 修士課程)	<判例報告> 最高裁平成 17 年 10 月 11 日 (民集 59 卷 8 号) 2243 頁 「相続が開始して遺産分割未了の間に第二次の相続が開始した場合において第二次被相続人から特別受益を受けた者があるときの持戻しの要否」
2 (111)	5/27	河森 計二 (小樽商科大学准教授)	新保険法における保険媒介者の告知妨害・不告知教唆について
3 (112)	6/17	小林 友彦 (小樽商科大学准教授)	国際経済法分野において、紛争処理手続が複層的に併存することの法的諸問題——北米地域における WTO、NAFTA、国内裁判所、商事仲裁の交錯に注目して——
7 月は修士論文中間報告会 (7 月 22 日)			
4 (113)	10/28	井戸 希 (小樽商科大学大学院 修士課程)	<判例報告> 最判平成 20 年 3 月 6 日 (民集 62 卷 3 号 665 頁) 「住民基本台帳ネットワークシステムにより行政機関が住民の本人確認情報を収集、管理又は利用する行為と憲法 13 条」
5 (114)	11/18	河野 憲一郎 (小樽商科大学准教授)	破産債権確定手続の基本構造
6 (115)	12/16	才原 慶道 (小樽商科大学准教授)	知的財産権の独占的利用者による差止請求
兼 地域研究会			
7 (116)	1/20	麗 紅 (小樽商科大学大学院 修士課程)	<判例報告> 最高裁平 19 年 3 月 23 日第二小法廷決定 (民集 61 卷 2 号 619 頁) 「市町村長の処分に対する不服申立て却下審判に対する抗告審判の変更決定に対する許可抗告事件」
8 (117)	2/3	大澤 文幸 (小樽商科大学大学院 修士課程)	相続税法 22 条における「時価」に関する一考察——評価基本通達に定める原則的評価方法によらない評価について——
		酒井 信裕 (小樽商科大学大学院 修士課程)	ラブホテル規制条例の法的研究——小樽市ラブホテル建築規制条例を素材に——
<p>■ 幹事：河野 憲一郎／才原 慶道</p> <p>■ 肩書は当時 (敬称略)</p>			